



## リモート ワーカー緊急コール

- [リモート ワーカー緊急コールの概要 \(1 ページ\)](#)
- [リモート ワーカー緊急コールの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [リモート ワーカー緊急コールの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

### リモート ワーカー緊急コールの概要

リモート ワーカー緊急コール機能により、顧客はリモート バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) 接続を使用した信頼性の高い緊急コールサポートをリモート ワーカーに提供できます。オフプレミス ユーザからの緊急コールは公安応答局 (PSAP) にルーティングされ、各コールではユーザが提供するロケーション情報が配信されます。

この機能を使用するには、デバイス登録が中断されるたびにリモート ワーカーがロケーションを確認または更新する必要があります。最初に、オフプレミス向けデバイス (顧客のネットワークにリモート接続するデバイス) にカスタマイズ可能な免責事項通知が表示されます。この通知は、正しいロケーション情報を提供するようにユーザに指示します。ロケーション情報が提供されると、指定したデバイスに現在関連付けられているオフプレミスロケーションが表示されます。ユーザは現在のロケーションを確認するか、または保存されている別のロケーションをデバイスのディスプレイで選択します。新規ロケーションの場合、ユーザに対し、新規ロケーションを作成するための Cisco Emergency Responder Off-Premises User Web ページが表示されます。

管理者はこのプロセスを完了する前に、デバイスがコールできる接続先を、設定されている 1 つの接続先だけに制限できます。この操作により、デバイスのユーザは免責事項に同意し、現在のロケーション情報を提供した後で、デバイスを通常どおり使用できるようになります。

### リモート ワーカー緊急コールの前提条件

リモート ワーカー緊急コール機能を設定する前に、Cisco Emergency Responder で Intrado (サードパーティ製アプリケーション) を設定する必要があります。Cisco Emergency Responder での Intrado の設定の詳細については、[Cisco Emergency Responder アドミニストレーション ガイド](#) を参照してください。

## リモートワーカー緊急コールの設定タスクフロー

始める前に

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<a href="#">リモートワーカーとしてのユーザの設定 (2 ページ)</a>	構外デバイスをデバイスの所有者と関連付けます。
ステップ2	<a href="#">緊急コールの代替ルーティングの指定 (3 ページ)</a>	これらのパラメータは、コーリングサーチスペースと接続先番号を指定します。これらは、ユーザがロケーションを設定しないことを選択した、登録済みの構外デバイスから発信されたコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータが設定されていない場合、コールは通常どおりルーティングされます。
ステップ3	<a href="#">アプリケーションサーバの設定 (3 ページ)</a>	エンドユーザを、デバイスのロケーションを入力したアプリケーションサーバに直接接続します。
ステップ4	<a href="#">E911 メッセージの設定 (4 ページ)</a>	構外のエンドユーザの電話機に表示される E911 メッセージを設定します。

## リモートワーカーとしてのユーザの設定

始める前に

Cisco Emergency Responder に Intrado が設定されていることを確認します。Cisco Emergency Responder での Intrado の設定の詳細については、[Cisco Emergency Responder アドミニストレーションガイド](#)を参照してください。

手順

- ステップ1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ2 電話機を検索するのに適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。検索基準に一致する電話機のリストが表示されます。
- ステップ3 リモートワーカー緊急コールを設定する電話機を選択します。

[電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [デバイス情報 (Device Information) ] セクションで、[オーナーのユーザー ID (Owner User ID) ] ドロップダウンリストから適切なユーザー ID を選択して、[オフプレミスの場所が必要 (Require off-premise location) ] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** [保存] をクリックします。

## 緊急コールの代替ルーティングの指定

コーリング サーチ スペースと接続先番号を設定するには、次の手順を実行します。これらのパラメータは、ユーザがロケーションを設定していない構外に登録してあるデバイスからのコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータを設定しない場合、コールは通常どおりにルーティングされます。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。[システム (System) ] > [サービス パラメータ (Service Parameters) ]。

**ステップ 2** [サーバ (Server) ] ドロップダウン リストからサーバを選択します。

**ステップ 3** [サービス (Service) ] ドロップダウン リストから、[Cisco CallManager] を選択します。  
[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [クラスタ ワイドパラメータ (構外のロケーションへの緊急コール) (Clusterwide Parameters (Emergency Calling for Required Off-premise Location) ) ] セクションで[緊急コールの接続先の指定 (Alternate Destination for Emergency Call) ] を指定します。

**ステップ 5** [緊急コール用コーリング サーチ スペースの指定 (Alternate Calling Search Space for Emergency Call) ] を指定します。

**ステップ 6** [保存] をクリックします。

## アプリケーション サーバの設定

E911 プロキシが Cisco Emergency Responder と通信できるようにするには、アプリケーションサーバを設定する必要があります。E911 プロキシは、ユーザがデバイスの場所を入力するアプリケーションサーバにユーザを転送するために使用されます。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。[システム (System) ] > [アプリケーション サーバ (Application Server) ] を選択します。

**ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

[アプリケーション サーバ (Application Server) ] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [アプリケーションサーバのタイプ (Application Server Type) ] ドロップダウンリストで [CER のロケーション管理 (CER Location Management) ] を選択します。

ステップ 4 [次へ (Next) ] をクリックします。

ステップ 5 [名前 (Name) ] フィールドで、設定するアプリケーションサーバを特定する名前を指定します。

ステップ 6 [IP アドレス (IP Address) ] フィールドに、設定するサーバの IP アドレスを入力します。

ステップ 7 [使用可能なアプリケーションユーザ (Available Application Users) ] のリストから、アプリケーションユーザを選択し、下向きの矢印をクリックします。

ステップ 8 [エンドユーザの URL (End User URL) ] フィールドに、このアプリケーションサーバに関連付けられるエンドユーザの URL を入力します。

ステップ 9 [保存] をクリックします。

---

## E911 メッセージの設定

次の手順を使用して、構外デバイスの E911 メッセージを選択して編集します。

### 手順

---

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。 [システム (System) ] > [E911 メッセージ (E911 Messages) ]。

ステップ 2 E911 メッセージの必要な言語リンクを選択します。

[E911 メッセージの設定 (E911 Messages Configuration) ] ページには、利用規約、免責事項、およびエラーメッセージが表示されます。

ステップ 3 (任意) 構外デバイスに表示される E911 メッセージを編集します。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。